

# Fighting Hunger Worldwide



日本からの支援で届いた小麦粉を運ぶ様子 [パレスチナ・ガザ地区]



国連WFP協会  
年次報告書  
2015

©WFP/Leonora Baumann

発行 認定 NPO 法人 国連 WFP 協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 6F

www.wfp.org/jp

0120-496-819 受付時間 9:00 ~ 18:00 (通話料無料・年中無休)

## 目次

- 02 ご挨拶
- 03 送金報告
- 05 活動報告
- 07 2015年  
国連 WFP 協会の活動
- 09 企業・団体との連携
- 11 会計報告
- 12 2015年度決算報告
- 13 企業・団体の皆様からのご支援
- 14 役員一覧

## 国連 WFP とは

「国連 WFP」とは、国連機関である WFP 国連世界食糧計画と、それを支援する認定 NPO 法人である国連 WFP 協会という2つの団体の総称です。

WFP 国連世界食糧計画は、飢餓と貧困をなくすことを使命にする国連唯一の食糧支援機関です。災害や紛争時の緊急支援、栄養状態の改善、学校給食の提供などを活動の柱に、毎年平均 80 カ国で、女性や子どもなど 8,000 万人に食糧支援を行っています。国連 WFP の活動はすべて、各国の政府の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれています。

国連 WFP 協会は、募金活動や、企業・団体との協力関係の推進、広報活動を通して国連 WFP の活動を支えています。国連 WFP 協会は、1999 年に設立され、2005 年より「認定 NPO 法人」に認定されました。



栄養状態を確認するため、二の腕の太さを測定する様子 [バングラデシュ]  
表紙：学校給食を食べる少年 [コンゴ民主共和国]

©WFP/Ranak Martin

## ご挨拶

日頃より国連 WFP の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2015 年度、国連 WFP 協会に寄せられたご寄付は初めて 10 億円を超え、過去最高の 12 億 2 百万円となりました。これもひとえに皆様のご協力ゆえと、心より感謝を申し上げます。

昨年は大きな活動の例として、ネパール地震の緊急支援や、シリアの国内避難民および周辺国へ逃れた難民への支援などがあげられ、この一年も、自然災害、そして紛争の被害を受けた人びとへの支援に奔走しました。

一方、昨年は世界の飢餓人口が 8 億人を切り、1990 年に比べて 2015 年までに飢餓人口の割合を半減させるという国連の「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の一つを概ね達成するなど、明るい兆しも見られました。そして新たに策定された「持続可能な開発目標 (SDGs)」では、今後 15 年間で飢餓のない世界の実現を目指すことが決まりました。

国連 WFP 協会でもこの目標の達成に向けて、今後もより一層尽力してまいります。皆様の益々のご支援を何卒よろしくお願いたします。



認定 NPO 法人  
国連 WFP 協会 会長  
安藤 宏基

昨年 4 月にネパール大地震が発生し、その 3 カ月後に被災地を訪れました。長年親しんできた同国の景色が変わってしまったことに衝撃を受けましたが、震災直後、孤立していた山奥の村へも国連 WFP の支援が届いたことで救われたという村人の声を聞き安堵しました。これもひとえに皆様からのご寄付があったから可能になったことと、心より御礼申し上げます。



国連 WFP 協会  
親善大使  
三浦 雄一郎

日頃より国連 WFP へご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。以前のことで、私がセネガルで抱いた赤ちゃんは、標準の半分ほどの体重でした。でも、その子が両手で高カロリー食の袋を握り、おっぱいを吸うように一生懸命に食べる姿には生きる力があふれていました。食べることは生きること。どうぞ引き続きのご支援をお願いいたします。



国連 WFP 協会  
親善大使  
竹下 景子

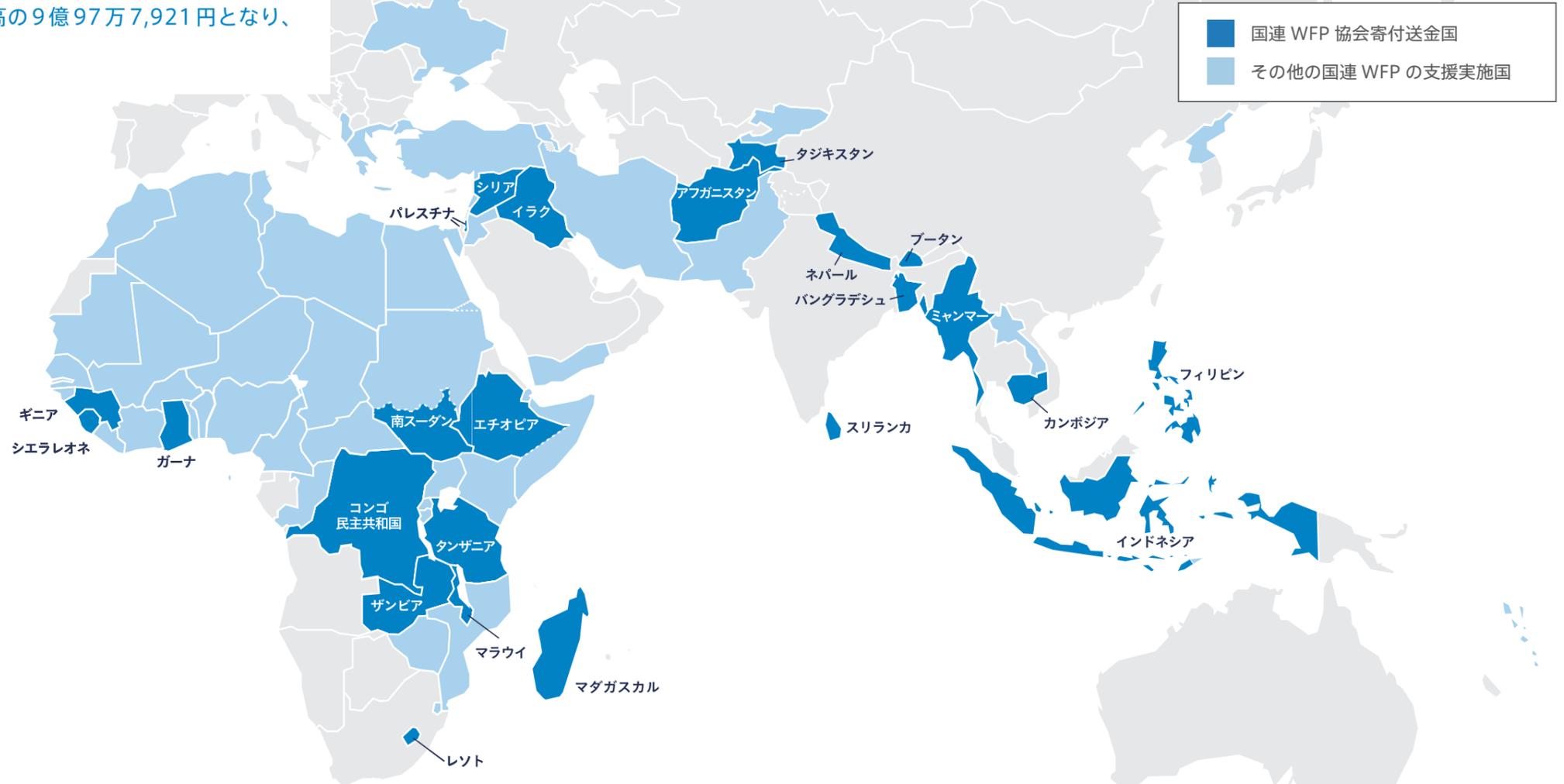
学校給食支援は「食」で子どもたちの未来をつくる、私の大好きな支援活動です。昨年末に視察で訪れた中央アジアのキルギスでは、充実した給食が提供されており、支援を卒業する日も近いように感じることができました。いつか、すべての国が国連 WFP の支援を卒業するその日まで、今後ともご支援をよろしくお願申し上げます。



国連 WFP  
日本大使  
知花 くらら

# 送金報告

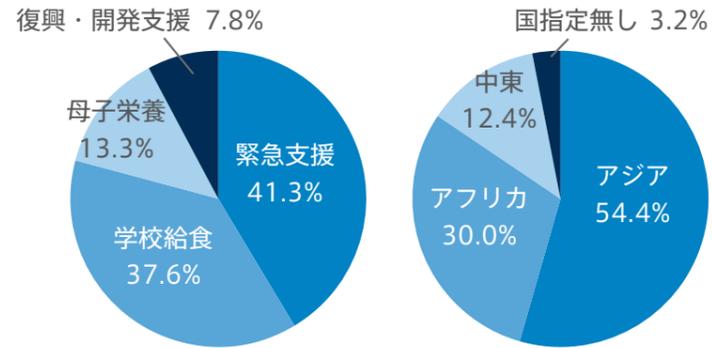
2015年、国連WFPは世界81カ国で7,670万人を対象に食糧支援を行いました。  
 国連WFP協会を通じた日本の皆様からの寄付送金額は、過去最高の9億97万7,921円となり、  
 国連WFPの活動に大きく貢献しています。



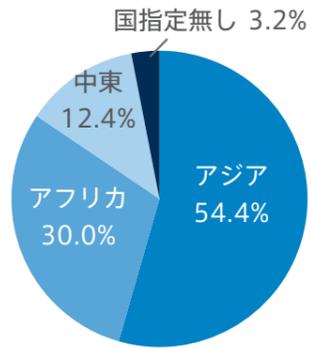
国連WFP協会の寄付送金額の推移 (単位：億円)



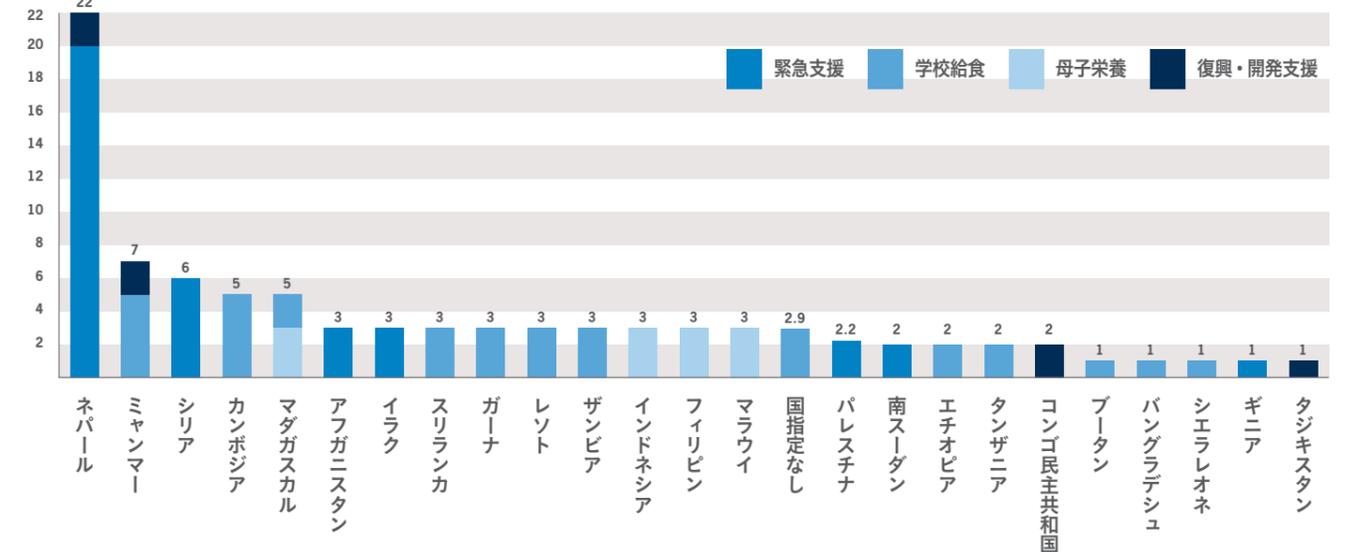
送金用途



送金地域



2015年の国連WFP協会寄付送金実績 24カ国 (単位：千万円)



# 活動報告

## 緊急支援

寄付送金額  
3億7,200万円

国連 WFP の緊急支援は、自然災害や紛争などによって食糧が手に入らない人びとの命を救い、生活を守るための支援です。2015 年、国連 WFP は、紛争が長引くシリアなど、最高段階と定める「レベル 3」の緊急事態 6 件に並行して取り組みました。その他の緊急事態も含め、全世界で 5,000 万人以上に対し緊急支援を行いました。



国連 WFP から支援食糧を受け取った山岳地域の女性 [ネパール]

### 緊急時への備えで 大地震後の支援が迅速に

2015 年 4 月 25 日に発生したネパール大地震は、およそ 9,000 人の命を奪い、総額 70 億米ドルもの被害を及ぼしました。国連 WFP は地震発生から 6 週間で、アクセスの困難な山岳地域に暮らす 200 万人に緊急食糧支援を実施。その後、地域のインフラの復旧作業へ参加した人びとに労働の対価として食糧などを支給し、被災地の早期復興を支援しました。また、支援の世界の「物流のリーダー」として、160 以上の団体の支援物資輸送をサポート。カトマンズ国際空港に隣接する支援物資の物流拠点は、緊急時への備えとして震災の 1 カ月前に完成したばかりでしたが、地震発生後、緊急対応の支援拠点となりました。この拠点があっただけで、なかった場合と比べて、支援物資を数週間早く被災者に届けることができました。

## 復興・開発支援

寄付送金額  
7,000万円

国連 WFP は、緊急支援が終わった後の復興支援や、長期的に飢えを防ぐための開発支援も行っています。例えば、道路や井戸など、生活向上につながる生活基盤の建設・修復工事を支援し、工事に参加した人に対し報酬代わりに食糧などを提供しています。



復興のための耕作プログラムに参加する人びと [コンゴ民主共和国]

### 続く紛争、 住民参加型の復興・開発支援

過去数十年に渡り紛争が絶えないコンゴ民主共和国では、極度の貧困や劣悪なインフラ事情、安全な水や基礎的な社会サービスの不足など様々な課題が山積し、食糧不足が深刻です。2015 年、国連 WFP は同国で、紛争により避難生活を送る人びとや、彼らの避難先の地域住民、避難先から故郷へ帰還した人など 120 万人を支援しました。例えば、故郷へ帰還した人に対しては、まず穀物や豆などの食糧を提供し、栄養不足を改善しました。その後、農地や魚の養殖池の整備事業を支援。整備作業に参加した人びとに対し、その報酬代わりに食糧を提供することで、人びとは、食べる心配をせずに、主な収入源となる農業や漁業の再開準備を進めることができました。

## 学校給食支援

寄付送金額  
3億3,897万7,921円

世界には貧困などを理由に空腹の状態で行く小学生が、6,600 万人います。国連 WFP は、子どもたちがおなかをすかせず勉強に取り組み、十分な栄養を得て成長できるように給食を提供するほか、家庭での食糧確保と教育への理解を促進するため、子どもが家へ食糧を持ち帰る形での支援も行っています。



学校給食のビスケットを食べる子どもたち [バングラデシュ]

### 現地政府へ 給食事業運営の移行進む

学校給食支援は、途上国が支援を「卒業」し、自国の給食制度を運営できるようになることを最終目標としており、これまでに 30 カ国以上が「卒業」しています。バングラデシュでは国連 WFP の技術支援により現地政府が運営する学校給食制度への移行が進み、約 300 万人の子どもたちに給食を提供できるようになりました。一方、特に貧しい地域の子どものうち 50 万人に対しては、国連 WFP が直接、給食を提供しています。首都ダッカの郊外の貧困地区に暮らすアンワル君は「家では午後と夜の 2 食しか食べられないから」と小学校で午前中に配布される栄養強化ビスケットを楽しみに通学しています。またアンワル君の母親は、「父親と違い、息子には教育を受け、将来安定した職に就いて欲しい」と語ります。

## 母子栄養支援

寄付送金額  
1億2,000万円

お母さんの妊娠中から授乳期を経て、子どもの 2 歳の誕生日にいたる間は、生命の「最初の 1000 日間」と呼ばれ、この期間の栄養不足は、身体・知能の発育に取り返しのつかない悪影響を及ぼすことがあります。母子への栄養支援は、子どもたちの心身の健全な成長を助け、自国の発展に貢献する大人に成長できるように支える支援ともいえます。



保健センターで経過観察のため体重を測定する様子 [マラウイ]

### 二の腕の太さが 1.4 倍に

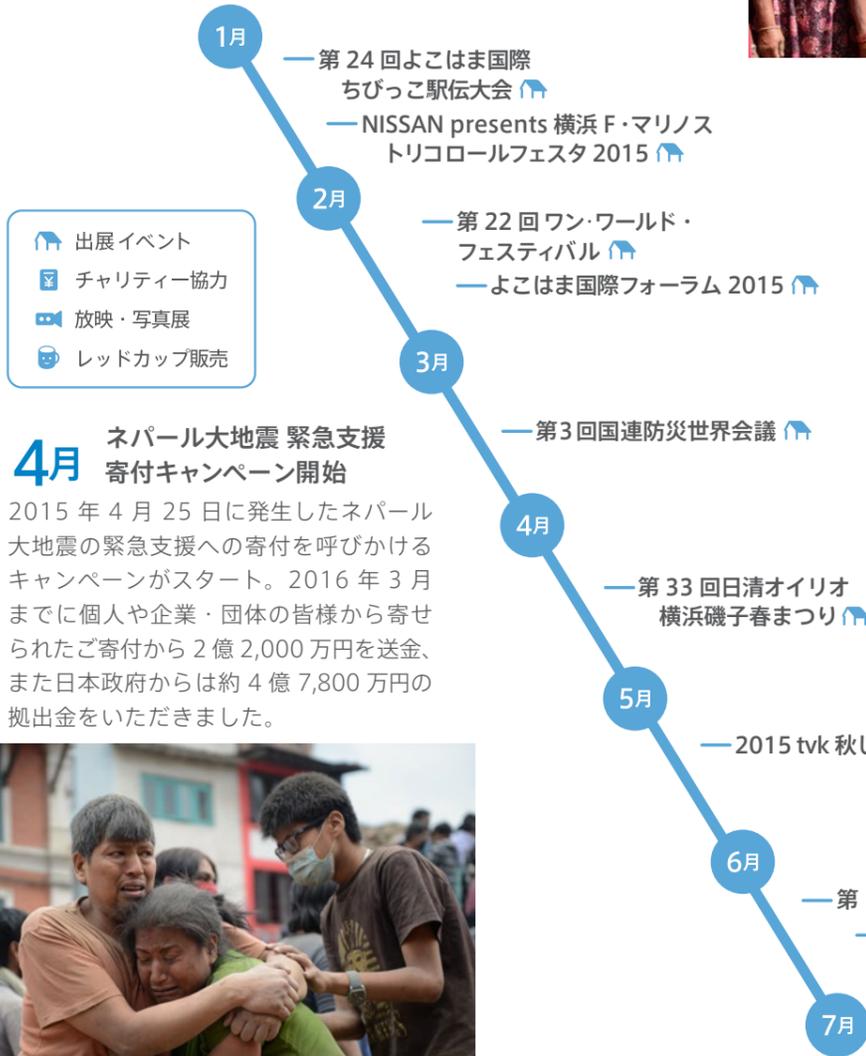
2015 年 9 月、生後 6 カ月のキングズレー君が母親に連れられて保健センターを最初に訪れた時、栄養状態を確認するため二の腕の太さを測るとわずか 8.9cm と、重度の急性栄養不良の状態にありました。当時、母親のムファトさんは衰弱していく息子に飲ませたくても十分な母乳が出ず、悩んでいました。その後、国連 WFP の栄養支援を集中的に受けられたことで、12 月までにキングズレー君の二の腕の太さは 12.9cm まで成長し、経過観察は必要ですが、危機は脱しました。その後も母子は乳幼児用の栄養強化食品などを受け取るほか、地元の団体による母親のための栄養指導も受けています。国連 WFP はマラウイで 2015 年、妊娠・授乳中の母親及び子ども約 12 万人を対象に栄養支援を実施しました。

# 2015年 国連WFP協会の活動

**3月** 三浦雄一郎  
国連 WFP 協会親善大使  
就任式・トーク@国連大学  
プロスキーヤーで冒険家の三浦雄一郎さんが国連 WFP 協会の親善大使に就任。これを記念して就任式とトークショーを開催。



**7月** 三浦大使  
ネパール被災地視察  
ネパール大地震から3カ月後の被災地を三浦大使が視察。国連WFPの物流拠点や被災した村を訪れ、被災した人びとの交流や復興作業の体験を通して、被災状況や支援状況を確認しました。



**4月** ネパール大地震 緊急支援寄付キャンペーン開始  
2015年4月25日に発生したネパール大地震の緊急支援への寄付を呼びかけるキャンペーンがスタート。2016年3月までに個人や企業・団体の皆様から寄せられたご寄付から2億2,000万円を送金、また日本政府からは約4億7,800万円の拠出金をいただきました。



**5月** WFP ウォーク・ザ・ワールド 10周年@横浜みなとみらい  
過去最高の4,212人が参加。参加費からの寄付金額は401万1,200円に。



## キャンペーン

**10月~12月** 「世界食料デーキャンペーン 2015 届けよう! 未来を育む給食 ~1万人に1年間、学ぶ喜びを~」

10月16日の「世界食料デー」を挟んだ10月1日から12月31日までの3カ月間、オンラインやイベントを通して国連WFPの学校給食支援のための寄付キャンペーンを展開。多くの個人、企業・団体からのご寄付により、目標の1万人を超える1万378人の子どもたちに1年間、学校給食を届けられることに。期間中は様々な企業・団体や学校が、啓発と寄付のための関連イベントを実施しました。



**10月** レッドカップのチャリティー販売スタート



「レッドカップ」(税込500円)の販売を開始。2015年末までに3,944個を販売。売り上げの一部は国連WFPの学校給食支援につながりました。



- 10月**
  - グローバルフェスタ JAPAN2015
  - よこはま国際フェスタ 2015
  - 大阪マラソン EXPO2015
  - ワールド・コラボ・フェスタ 2015
  - ジャパンラグビートップリーグ 「タックルハンガー~飢餓へ立ち向かえ~」上映
  - ニコプラザ仙台 写真展「三浦雄一郎が行く復興への道 ~ネパールを訪ねて~」
  - ハウス(バーモント)ファミリーウォーク
  - 富士フィルムシニアチャンピオンシップ
  - 高島屋チャリティサンタ販売
- 11月**
  - tvk 特別番組 「あすの地球と子どもたち ~LIVE TOGETHER~」
- 12月**
  - 視察報告会 「三浦雄一郎が見たネパール震災~国連WFPの支援現場~」@国連大学

**9月** 三浦雄一郎が見たネパール震災~国連WFPの支援現場~@国連大学  
三浦大使の現地視察報告会と、忍足謙朗元国連WFPアジア局長による講演会を開催。



**10月** WFP エッセイコンテスト 2015  
「忘れられない○○なごはん」をテーマに書かれたエッセイ1万5,841通が寄せられ、協力企業より142万5,690円のご寄付をいただきました。10月16日の表彰式にて、竹下景子国連WFP協会親善大使によるWFP賞受賞作品の朗読を上映。



# 企業・団体との連携

企業・団体と国連 WFP 協会との連携には様々な形態・方法があります。

- 商品の売上からの寄付
  - 店頭募金箱からの寄付
  - 社食のチャリティメニューからの寄付
  - 株主優待からの寄付
  - 従業員給与天引寄付と企業からのマッチング寄付
  - 備蓄食糧を活用した寄付
  - ポイントやカタログからの寄付
  - 社内イベント・募金からの寄付
- など

## 2015 年 寄付つき商品一覧

### レッドカップキャンペーン

学校給食支援の輪を広げるため、給食を入れる容器として使っている赤いカップを目印に国連 WFP が展開している「レッドカップキャンペーン」。様々な企業が参加し、売り上げの一部を寄付する取り組みを実施しています。



#### ▶ 食品関連



#### ▶ 食品以外



### その他の寄付つき商品

#### ▶ ネパール地震緊急支援



#### ▶ 学校給食支援



## 支援企業の声

### 株式会社ファミリーマート

豊かな国際社会の実現、次世代支援の理念のもと、人びとの「食べる」を支える国連 WFP を店頭募金などで10年間継続支援。

ファミリーマートは、2006年から店頭募金協力、マッチングによる企業寄付、商品売上の一部寄付などで支援を下さっています。CSR・コンプライアンス部長の玉川哲史さんにお話を伺いました。

——国連 WFP への支援内容を教えてください。

玉川さん ファミリーマートは、1993年から店頭募金を行っていましたが、2006年に「ファミリーマート夢の掛け橋募金」として改め、世界の子もたちと地球の未来のための活動を行う NGO/NPO の支援を開始。同時期から国連 WFP への支援も開始しました。さらに2009年からは店頭Famiポートから寄付先指定で募金頂ける「Famiポート募金」も加わり、これまでに約6億円を寄付しました。



ファミリーマート夢の掛け橋募金箱

——国連WFPへのご支援のきっかけは？

玉川さん グローバルに事業を行う企業として、ファミリーマートでは豊かな国際社会の実現や次世代育成支援などを柱に活動を行っています。そのため、子どもたちへの支援と地球の未来のための



活動を行っている点、また、加盟店でお客様からお預かりした募金をお渡しできるきちんと信頼できる団体であるという2点から国連 WFP を支援先として選びました。

——「飢餓のない世界」への想いを教えてください。

玉川さん 「食べる」ことはすべての根幹であると思います。また、ファミリーマートも支援している国連 WFP の学校給食プログラムは、子どもたちに栄養価の高い食事を提供することで、教育の機会を広げ、さらに人びとが自立に向かうことができる、人の基本を支える支援だと思っています。ファミリーマートの理念の一つでもある「Co-Growing (共同成長)」の通り、世界の人びととともに成長していければと思いますし、世界中の子どもたちと「ファミリー」になれたらいいですね。

### 国連 WFP コーポレートプログラム

年間一定額のご寄付をいただき、継続的に国連 WFP の活動にご協力いただくパートナーシップです。

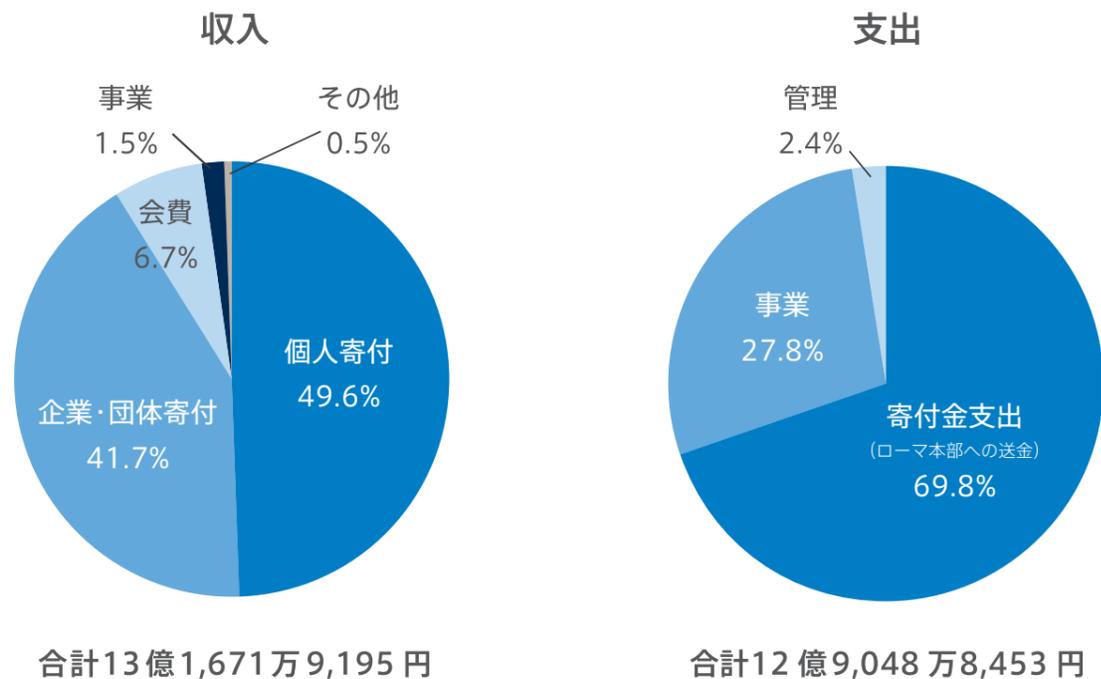
#### ▶ パートナー



#### ▶ サポーター

# 会計報告

日頃より、国連 WFP の活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。2015 年度（2015 年 1 月～12 月）に国連 WFP 協会に寄せられたご寄付（企業・団体寄付及び個人寄付）は、合計で 12 億 223 万 5,171 円となり、多大なご支援を賜ることができました。



国連 WFP ローマ本部との取り決めにより、寄付（企業・団体寄付及び個人寄付）のうち 75% 以上は途上国での支援活動のためローマ本部へ送金しており、残り 25%（上限）は国連 WFP 協会が国内で行う募金活動、広報宣伝活動、管理費等の運営経費に活用しています。

## 情報公開と監査報告

国連 WFP 協会は、法人の監事が内部監査を行うとともに、監査法人に依頼して外部監査を受けています。事業報告書や財務諸表及び財産目録は、所轄庁である横浜市に提出され、またウェブサイトにも掲載されています。  
<http://ja.wfp.org/jawfp/annual-reports/>



# 2015 年度決算報告

## 活動計算書

2015 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日まで

科目	金額 (単位: 円)
<b>I 経常収益</b>	
1 受取会費	評議会費 87,600,000 賛助会費団体 665,000 賛助会費一般 500,000 賛助会費学生 2,000
小計	88,767,000
2 事業収益 (1) 普及啓発事業	送料負担 18,846 謝金・講演料 193,136 ハンガーマップ 62,000 レッドカップ 967,741 (2) 協力事業 協賛金 18,244,619
小計	19,486,342
3 受取寄付金	一般 1,202,235,171
4 その他収益	受取利息 5,747 受取配当金 6,224,935
経常収益計	1,316,719,195
<b>II 経常費用</b>	
1 事業費 (1) 人件費	給料手当 46,465,091 法定福利費 6,941,070 委託費 51,704,873 福利厚生費 292,703
人件費計	105,403,737
(2) その他経費	会議費 284,175 旅費交通費 5,080,643 通信運搬費 15,061,753 消耗品費 1,486,576 印刷製本費 45,181,036 賃借料 324,231 支払手数料 9,513,096 保険料 32,970 宣伝広告費 151,904,696 協力事業費 22,899,708 租税公課 8,000 保守料 1,583,820 新聞図書費 125,225 求人研修費 2,000 雑費 2,511 寄付金支出 900,132,413
その他経費計	1,153,622,853
事業費計	1,259,026,590
2 管理費 (1) 人件費	給料手当 14,148,072 法定福利費 2,198,522 委託費 1,333,800 福利厚生費 63,494
人件費計	17,743,888
(2) その他経費	会議費 1,879,866 旅費交通費 792,310 通信運搬費 637,551 消耗品費 414,904 印刷製本費 232,772 賃借料 118,488 支払手数料 1,019,555 保険料 78,940 諸報酬料 2,712,925 租税公課 2,023,791 保守料 1,185,084 新聞図書費 37,428 求人研修費 8,000 什器備品減価償却額 1,037,668 商標権減価償却額 77,984 ソフトウェア減価償却額 1,460,709
その他経費計	13,717,975
管理費計	31,461,863
経常費用計	1,290,488,453
当期正味財産増減額	26,230,742
前期繰越正味財産額	171,575,610
次期繰越正味財産額	197,806,352

## 貸借対照表

2015 年 12 月 31 日現在

科目	金額 (単位: 円)
<b>I 資産の部</b>	
1 流動資産	現金預金 340,827,929 未収金 86,640 商品 893,025 前払金 491,032
流動資産合計	342,298,626
2 固定資産 (1) 有形固定資産	什器備品 1,932,384
有形固定資産合計	1,932,384
(2) 無形固定資産	商標権 493,899 ソフトウェア 4,058,748
無形固定資産合計	4,552,647
(3) 投資その他の資産	投資有価証券 50,339,500
投資その他の資産合計	50,339,500
固定資産合計	56,824,531
資産合計	399,123,157
<b>II 負債の部</b>	
1 流動負債	未払金 200,713,372 未払法人税等 56,800 預り金 189,233 未払消費税等 357,400
流動負債合計	201,316,805
負債合計	201,316,805
<b>III 正味財産の部</b>	
	前期繰越正味財産 171,575,610 当期正味財産増減額 26,230,742
正味財産合計	197,806,352
負債及び正味財産合計	399,123,157

※決算時点での送金見込み金額

## 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針  
 財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準 (2010 年 7 月 20 日発行、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会) によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
 移動平均法による原価法によっております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
 定額法による減価償却を実施し、直接法で表示しています。
- (3) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 その他の有価証券  
 時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっております。
- (4) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2 固定資産の増減内訳 (単位: 円)

科目	什器備品	商標権	ソフトウェア	合計
期首取得価額	3,136,913	779,840	7,422,712	11,339,465
増加	1,814,400	-	1,905,120	3,719,520
減少	0	-	-	0
期末取得価額	4,951,313	779,840	9,327,832	15,058,985
減価償却累計額	3,018,929	285,941	5,269,084	8,573,954
期末帳簿価額	1,932,384	493,899	4,058,748	6,485,031

# 企業・団体の皆様からのご支援

2015年、国連WFP協会は433社・団体の評議員や、多くの企業・団体の皆様からご寄付をいただきました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。

2015年 100万円以上の寄付をいただいた企業・団体の皆様（順不同）

株式会社ファミリーマート  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
日清食品株式会社  
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社  
立正佼成会 一食平和基金  
日清食品ホールディングス株式会社  
株式会社高島屋  
宗教法人真如苑  
株式会社明光ネットワークジャパン  
株式会社ゴールドウィン  
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団  
宗教法人生長の家  
三菱商事株式会社  
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団  
大阪マラソン組織委員会  
デロイトトーマツ合同会社  
株式会社カタログハウス  
株式会社カスミ  
ヤフー株式会社  
三菱東京UFJ銀行社会貢献基金  
全国農業協同組合中央会  
伊藤忠商事株式会社  
コネクシオ株式会社  
宗教法人松緑神道大和山 世界平和活動推進委員会  
日本生活協同組合連合会  
リンベル株式会社  
学校法人創志学園  
株式会社ディノス・セシール  
公益社団法人日本プロゴルフ協会  
三井住友カード株式会社  
富士フィルムホールディングス株式会社  
一般社団法人日本フードサービス協会  
横浜市  
キヤノン株式会社  
株式会社ロッテ  
公益財団法人日本テニス協会  
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社  
日本電気株式会社  
特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International  
株式会社ハローデイ  
株式会社日本アクセス  
有楽製菓株式会社  
株式会社朝日ネット  
日本ビザハット株式会社  
日立健康保険組合  
株式会社クレディセゾン  
マルイ食品株式会社  
ファンケルクラシック基金  
プリマハム株式会社  
シチズンホールディングス株式会社  
昭和産業株式会社

ハウス食品グループ本社株式会社  
株式会社中村屋  
三菱UFJニコス株式会社  
三菱商事食品グループ  
キッコーマン株式会社  
キューピー株式会社  
森永乳業株式会社・森乳スマイル倶楽部  
凸版印刷株式会社  
立正佼成会 佐倉教会  
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社  
東京JLA外国語学校  
カンロ株式会社  
ソントンホールディングス株式会社  
Fuels Infrastructure Inc, 株式会社  
積水ハウス株式会社  
日本ハム株式会社  
株式会社タイヨー  
大栄食品株式会社  
HAL YAMASHITA  
丸中製菓株式会社  
株式会社ポストン コンサルティンググループ  
株式会社河本総合防災  
株式会社湖池屋  
株式会社日清製粉グループ本社  
コカ・コーライーストジャパン株式会社  
OLCグループ こどもスマイル基金  
株式会社オリエンタルランド  
全国農協食品株式会社  
ファンネックスアセットマネジメント株式会社  
株式会社ロードアンドスカイ  
十条ケミカル株式会社  
株式会社コスミックコーポレーション  
株式会社I-ne  
株式会社ヴィナイオータ  
株式会社ファイネット  
伊藤忠食品株式会社  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
日本農産工業株式会社  
日本公認会計士協会東京会  
医療法人山内診療所  
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ  
公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団  
ユニーグループ・ホールディングス株式会社  
シオノギ社会貢献支援会  
株式会社ユニーク  
株式会社オフィス・カラーサイエンス  
川崎重工業株式会社 神戸本社  
サンベック株式会社  
不二精機株式会社  
ユニリーバ・ジャパン  
生活協同組合ユーコープ

\*上記以外にも多くの企業・団体の皆様にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。



学校給食を食べる子どもたち [モザンビーク]

## 役員一覧

2016年7月1日現在（敬称略 五十音順）

会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	忍足 謙朗	WFP 国連世界食糧計画 元アジア地域局長
同	蟹江 雅彦	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画 WFP 協会 元専務理事
同	鈴木 邦夫	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画 WFP 協会 事務局長
同	スティーブン・アンダーソン	WFP 国連世界食糧計画 日本事務所 代表
同	本田 亮	クリエイティブディレクター/環境マンガ家
同	松江 勝美	公益財団法人横浜市国際交流協会 元常務理事
同	三代 裕子	総務省 行政相談委員
同	御立 尚資	株式会社ポストン コンサルティンググループ
同		シニア・パートナー・アンド・マネージング・ディレクター/BCG フェロー
同		公認会計士・税理士
同		社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 顧問
監事	櫻谷 隆夫	
同	齋藤 史郎	